

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(11月19日)(第14号)



幸せは「なる」もの、「感じる」もの?

先日ある一年生に「学校は楽しい?」と尋ねると「楽しいです。今までの学校生活の中で一番楽しいです」と答えが返ってきました。それを聞いて一日をとてHappyに過ごせました。人は目標があって生きている人が多いです。仏教では五欲といって、食欲・財欲・色欲・名誉欲・睡眠欲があり、それを満たすために人は生きているそうです。大谷選手のように、一つ一つの小さな目標を達成して自己実現を果たしていければいいですが、実際は非常に難しい。先日こんな内容の本を読みました。「将来の目標に縛られることなく、自分の周囲の人の笑顔を優先しながら、今自分の置かれた環境でベストを尽くす、それを続けると天命に運ばれ、いつか自分では予想もなかった高みに到達する。自分の夢を叶える「For me」より周りに喜びや笑顔を与える「For you」の精神。」心が少し軽くなりました。

3学年朝会



11月18日(月)は学年朝会が行われ、3学年に参加しました。3年2組の大山さんが、来週から行われる期末考査に向けて意気込みを語り、続いて担任の小屋敷先生が、2冊の本について紹介してくれました。ラサール高校の英語科の丸山亮先生が書かれた「旅をする本」とサンテグジュペリ「星の王子様」。星の王子様には小屋敷先生のお母さんの書き込みが残っていて、フランスに憧れた母親と留学を実現した娘の「思いはつながる」という言葉が印象的でした。

国頭小学校 絵本の読み聞かせ



昨年度は、4つの小学校に「絵本の読み聞かせボランティア」に行かせていただきましたが、本年度は、ボランティアの募集をかけたところ、40名を超える生徒が応募してくれました。そこで、日程の調整をして、沖永良部島の全ての小学校を訪問する計画を立てています(すでに6校が終了しています)。

11月15日(金)は、国頭小学校に12名が訪問することになっていましたので同行しました。1年生から6年生まで、2名ずつ教室に入り、学年の発達段階に応じて絵本を選んで練習し、本番に臨みます。低学年の教室では、机と椅子を教室の後ろに寄せて、床に体育座りで待っていました。どの学年も読み聞かせが始まると、すぐに絵本の世界に入り込んで熱心に聞いているようでした。1年生の教室では、最後に2人の児童が自ら手を挙げて感想とお礼を述べてくれました。国頭小学校の先生方からも大変感謝され、朝から清々しい思いで学校に向かいました。参加してくれた皆さん、ご苦労様でした。

バイオリンの発表会



現在1・2年生の音楽の授業では、バイオリンをレンタルして実習を行っています。昨年度は琴の実習でした。生徒はもちろんバイオリンに触れるのも初めての経験だと思いますが、授業を通して、一つの曲が演奏でききるまで上達するのに驚きます。11月11日からクラス毎に校長室まで来て成果を披露してくれました。凜とした佇まいで、いかにも演奏家という雰囲気を感じました。この達成感への挑戦につながると期待しています。見ている羨ましくもあり、私も何か楽器を習ってみました。

「探究」に関する職員研修会



11月13日(水)7限目に国分高校の神園泰和先生を講師にお願いして、「総合的な探究の時間及び課題研究」と題して、オンライン職員研修を行いました。国分高校は創立百周年を迎える伝統校で、文科省からSSH(スーパーサイエンススクール)の指定を受けて今年で7年目になります。そのため、探究活動がとても盛んで様々なコンテストで賞に入り、国際大会(今年はシンガポール)にも出場しています。

この日は、国分高校の探究活動の実態と生徒への効果的な声かけ、ポスターセッションの進め方について講義をしていただきました。「自分の想いを論文やポスター等の形にして、発表することは楽しいことで、楽しいから探究活動をする」という言葉が印象に残りました。

先日私は学校訪問をさせていただきましたが、廊下のあちこちにポスターセッションで使用したポスターが掲示されていました。国分高校のHPの「SSH」を見てみてください。生徒の取組が詳しく掲載されていますので、参考になると思います。

エイサー部 9年連続全国大会出場決定!



第19回県高文連郷土芸能専門部発表大会の伝承芸能部門に出場したエイサー部が、最優秀賞を獲得し、来年度香川県で開催される全国総文祭に出場することが決定しました。9年連続出場になります。

部員の皆さんは、全国大会出場の伝統を絶やしてはいけないとプレッシャーが大きかったらうと推察します。本当におめでとうございます。

11月17日(日)知名町余多の敬老会が行われ、祝宴の部で「余多うちばら」等を披露し、地域の方々からも祝福していただきました。

